



緑区地域福祉計画推進協議会より

みどりのきずな

創刊号

平成19年1月1日発行

編集: 緑区地域福祉計画推進協議会広報部会

発行: 緑区地域福祉計画推進協議会事務局

千葉市緑区おゆみ野3丁目15番地3

(緑区役所 緑福祉事務所福祉サービス課内)

Tel 043-292-8142 FAX 043-292-8276

【緑区地域福祉計画 基本理念】

『区民一人一人が手を結びあい、心あたたまる

地域の活性化をめざし、住みよいまちを創造していく』

委員長あいさつ

「のりしろ」のある心を持つて

緑区地域福祉計画推進協議会

委員長 岡本 博幸

「人」の文字は支え合っている意味です。人間は一人では生きていけません。互いに支え合って生きています。そこには、助け合い、譲り合い、分かち合いの心がいつも働いています。

「理解し合う」その時、人と人の間には「のりしろ」の気持ちが働いていませんか。「のりしろ」は物を繋げることで、繋げるには、お互いを重ね合わさなければ繋がりません。

余白を出し合い、譲り合い、理解し合わなければならぬのです。「繋がる」とは、様々な葛藤や困難を乗り越えていかなければなりません。そしてその繋がりが太い絆となつて住み良い社会を創りあげていくものと想っています。

地域福祉の推進は「自助」「共助」「公助」が個々に働き、働きかけ合いながら、進展と発展をしなければなりません。その心根には、いつも「のりしろ」の気持ちを大事にしていきたいと思います。



第1回 みどり福祉推進協議会開催
(平成18年8月5日)

区内による手づくりの
福祉を進める会ができました

緑区地域福祉計画推進協議会

発足!

(略称 みどり福祉推進協)

平成十六・十七年度の二年間にわたり、住民が抱えている福祉に関する問題点を、各地区のフォーラム委員が聞き取り、その実情を調査し、課題別に分類した「緑区地域福祉計画」が作成されました。そこで提案された解決策を実践させるために設立された組織が緑区地域福祉計画推進協議会です。



写真、手前左より、岡本委員長・秋山副委員長・田宮副委員長

協議会は、提案されたものの中から急を要するもの、ちょっととした工夫で実現可能なものを優先して協議を行い、実現への具体策を考えていきます。

そして、福祉を必要とする地域住民の誰もが生き生きと暮らせる「街づくり」を目指しております。会議は原則として、

毎月第一土曜日午後二時より緑区役所五階会議室において、公開して開催されております。傍聴も可能です。次回の開催は、二月三日(土)を予定しております。

皆さんのお声をまとめてみました

緑区地域福祉計画の基本方針

「」内は、キーワード名

- ①みんなとふれあいたい、社会参加もしてみたい。

「コミュニケーション」

「向こうう二軒両隣」の輪を広げ、ひきこもり現象をなくし、話し合いの場を広げましょう。

- ②みんなで安心して遊べ、学べる場所が少ない。特に障害者・児童の参加できる居場所がない。
◎その背景に公共的施設の使用制約がある。

「施設の活用」

施設の開放で、みんなが集えるよう運動を展開しましょう。

- ③独居高齢者、障害をもつた人から、緊急事態の時、災害発生の不安です。

「緊急時の支援・対応」

不安を取り除く方策を立てて安心して暮らせるようにします。

- ④日常生活でちょっと手を貸してもらえば、あとは自活できるのに、どこに頼んだらいいの。

「身近な生活支援」

困った時は気軽に声をかけられるような雰囲気づくり、近隣の応援態勢づくりにご協力を！

- ⑤他人に迷惑をかけずに自力で出かけたいのに、交通の便がない。少ない。

「交通対策」

通院、買物、おしゃれ、ふれあい、などすべてに移動手段が必要です。一人でも気軽に出かけられる方法を見つけます。

『解決への道』

これらの課題を解決するには、すべて、「行政に依存する」のではなく、住民の知恵と経験を生かした工夫で、自分たちで出来ることは自分たちで行動し、行政をも動かす心構えが必要なのです。



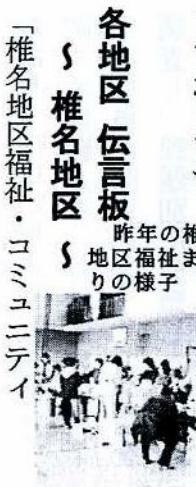
みどり福祉推進協 情報

昨年十二月の開催で、五回目となりました、当みどり福祉推進協では現在、次の件について協議を行っているところあります。

- ①子どもルーム（学童保育）の、増設・時間延長について

- ②乗合巡回バスの運行について
③高齢者や障害者の方たちが気軽に集えるような「場」となる施設の設置について

- また、これら以外にも、各委員さん達が、所属し、活動している団体での問題点等を持ち寄って、検討をしております。名づけます。



- 開催日時 平成十九年一月十一日
日曜日 午前九時より
まつり

開催場所 千葉市立椎名小学校

催し物 ・ゲートボール大会
・健康相談・血圧測定

☆ご来場、お待ちしております。

・ 誉田地区・

誰が主催するのでもなく、誉田町

二丁目にある「さくら公園」に、毎朝六時頃になると、大人や子ども、高齢の方、障害のある方が、「おはよう」のかけ声とともに散歩が始まる。

そして六時三〇分、朝の冷たい空気を全身に浴びながら、みんなでラジオ体操が始まる。多い時は五十人を超える。こどもが大人へ挨拶をする。健常者が障害者の手助けをする。

このような場所に来てみませんか！

◆◆編集後記◆◆

昨年八月に発足した、「みどり福祉推進協」も、すでに、五回の協議を重ねてきたところです。年が改まったところで「緑区地域福祉計画推進協議会だより」を発行することになりました。福祉活動は、一人ではなく困難です。活動の輪を広げる「絆」の思いを込めて、愛称を『みどりのきずな』と、名付けました。どうぞよろしくお願いいたします。

次号は、三月の発行を予定しております。是非、ご一読いただき、意見、提案、感想をいただければ幸いです。みなさんで、住みよい街を創造していきましょう。(N)